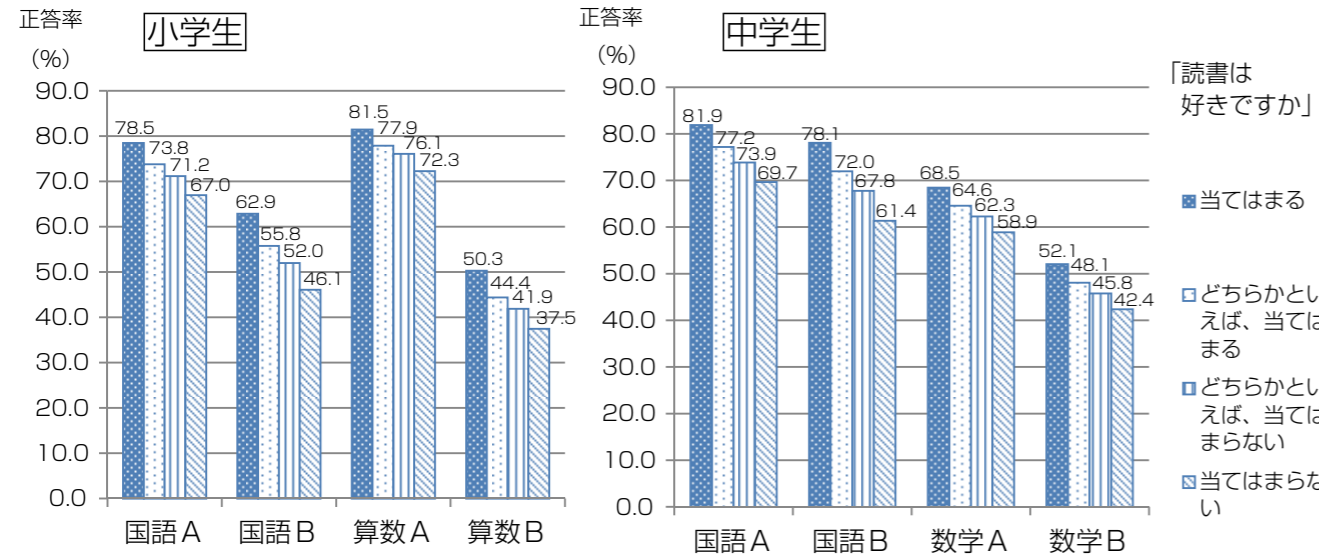
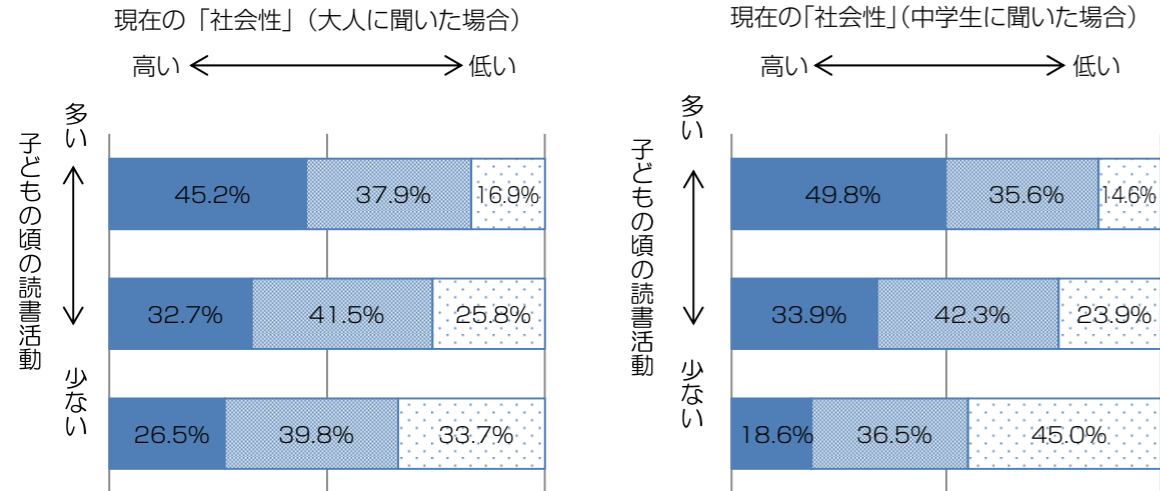


< 「読書は好きですか」の回答と、「全国学力・学習状況調査」の平均正答率との関係 >



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(平成 29 年度)

< 子どもの頃 (就学前から中学時代まで) の読書活動と、現在の「意識・能力」との関係 >



《「意識・能力」に関する質問項目例》

社会性	共生感	友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれくなる など
	規範意識	電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人に席をゆずろうと思う など
	人間関係能力	近所の人に挨拶ができる など

資料：国立青少年教育振興機構「子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究」(平成 24 年度)

「うながす」

■エピソード

ある日、中学生の さくらは、家に帰ってからスマホをずっと使っています。その様子を見かねた母の美樹が話しかけました。

美樹：「いつまでもスマホばかり見ていないで、時間があるなら、少しは本を読んだらどうなの。」

さくら：「本なんか、おもしろくないよ。じゃあ、スマホはやめてテレビでも見ようかな。」

美樹：「なんでこんなことになっちゃったのかしら。小さい時は、絵本が好きだったのに…。」



美樹は、さくらが小さかった時のことを思いうかべました。

さくら：「ママ！絵本読んで！」

美樹：「しょうがないわね。1回だけよ。」

美樹は、さくらに絵本の読み聞かせをしました。

さくら：「わあ〜い。もう1回読んで。もう1回。」

美樹：「さくらちゃんは本が好きね。あと1回よ。」

美樹：「小さい時は絵本が好きだったのに。どうして、スマホをいじったり、テレビを見たりしてばかりなの。」

さくら：「お母さんだって、本を読んでいるのを見たことないよ。」

美樹：「私は読む暇がないの。読みたくても読めないのよ。」

さくら：「そんなの、言い訳じゃない。本なんておもしろくないよ。あっ、友達から連絡が来てるから返信しなくっちゃ。」

美樹：「…」

そうして、さくらはまたスマホをさわりました。



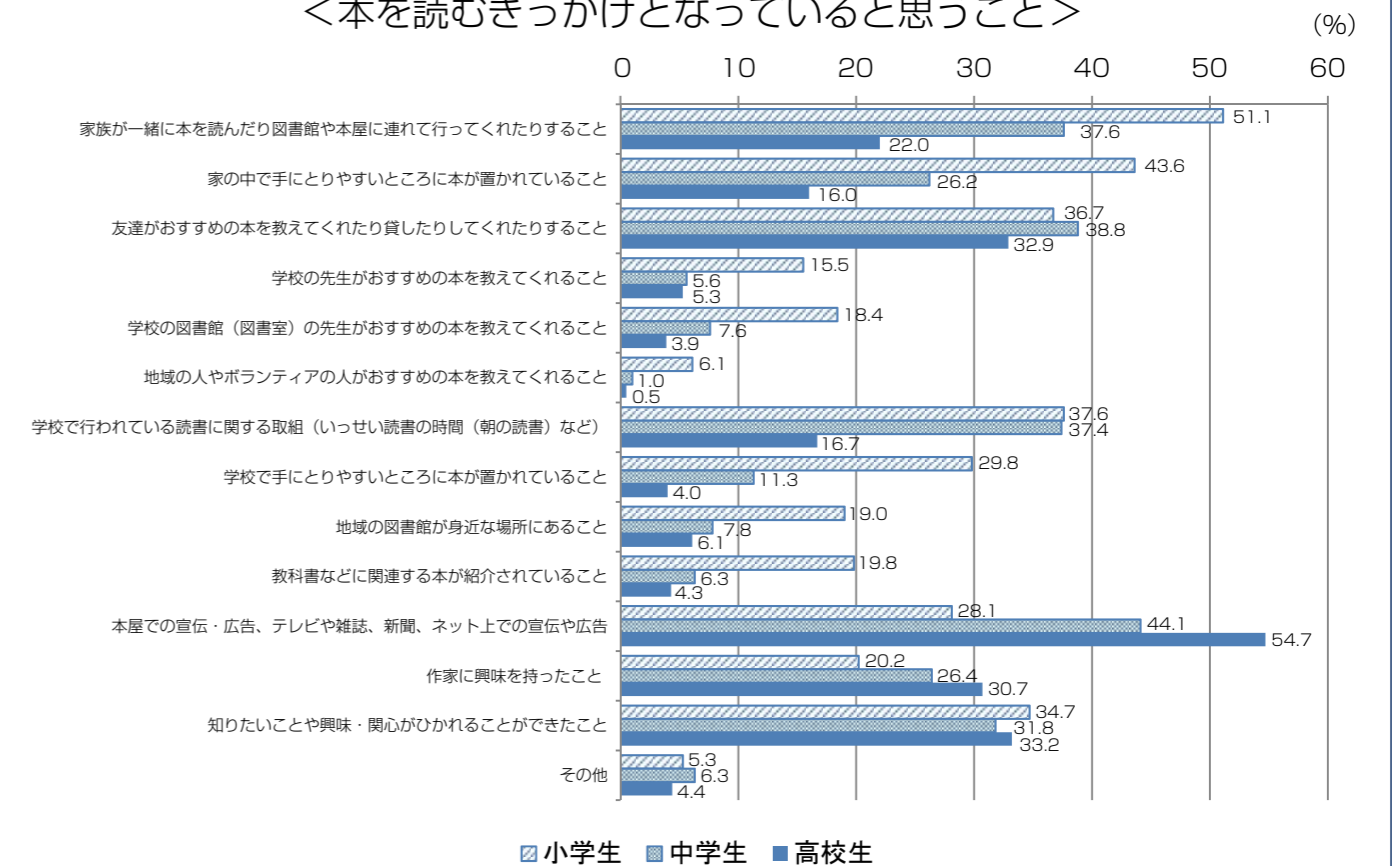
グループワーク

① エピソードを読んで、どのように感じましたか？

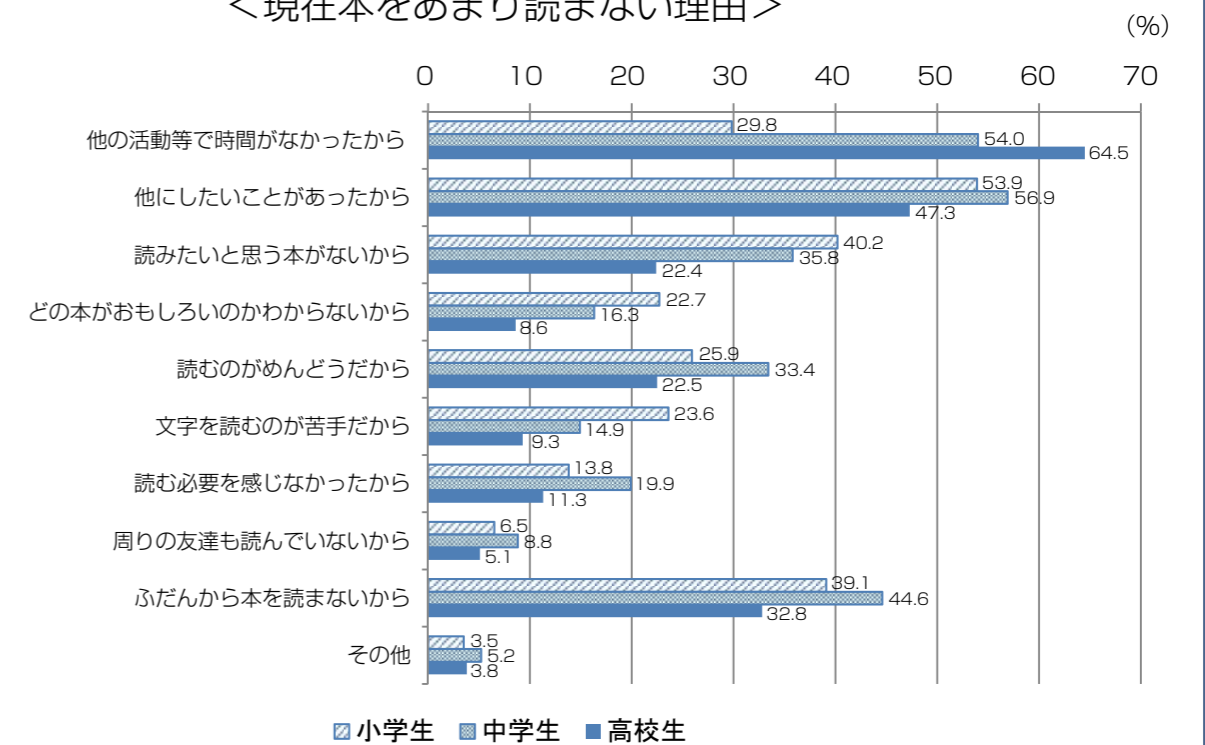
② 子どもの頃、どんなことをして過ごしていましたか？
(していた遊び、読んだ本など)

③ 本を読むきっかけには、どんなことがありますか？

<本を読むきっかけとなっていると思うこと>



<現在本をあまり読まない理由>



資料：文部科学省「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」(平成28年度)